

資源としての文化

第15回

福田一史

大阪国際工科専門職大学

<https://scrapbox.io/fukudakz/資源としての文化>



図. 講義ウェブサイトリンク (QRコード)
※LMSの資料のページにもリンクがあります

授業計画

回次	タイトル
1	ガイダンス・文化資源の定義
2-3	文化資源研究の系譜と基礎概念
4-6	デジタルアーカイブ
7-9	メタデータ
10-12	文化資源データの分析
13-14	事例研究
15	総括

コンテンツ

1. デジタル化された文化資源の活用事例
2. クローキング

デジタル化された文化資源 の活用事例

活用事例からデジタルアーカイブの可能性を考える

デジタルアーカイブの活用事例

- デジタルアーカイブの活用は多様な形式で行われる
- 例えば、調査・研究、教育、展示、情報発信、コミュニティ構築、データ活用、商品開発などが想定される



図. デジタルアーカイブ社会のイメージ (例)
デジタルアーカイブの連携に関する関係省庁等連絡会・実務者協議会「我が国におけるデジタルアーカイブ推進の方向性」(p.3)より

デジタルアーカイブの活用事例

- 各施策は、先に述べたような分類のいずれかを主要な目的とする場合は多いが、それぞれは活動を通じたデータ作成、情報発信やコミュニティ構築など、様々な副次的な効果を有している。
- ここでは大まかな分類ではあるが、複数の活用事例を紹介し、その特徴から（これまでに紹介したコンピュータでのデータ分析以外の）**活用**における課題や展望を議論していく。

教育・学習

- ジャパンサーチを用いた初等中等教育用のキュレーション授業
 - 大井将生, 渡邊英徳. ジャパンサーチを活用した小中高でのキュレーション授業デザイン：デジタルアーカイブの教育活用意義と可能性. デジタルアーカイブ学会誌. 2020, vol. 4, no. 4, p. 352–359. https://doi.org/10.24506/jsda.4.4_352
- 小学校・中学校・高等学校でのキュレーション型授業の実践による検討と課題抽出に関する研究。

教育・学習

- 「2020アーバンデータチャレンジ和歌山：南方熊楠を知る～南方熊楠顕彰館資料とジャパンサーチを活用した地域資源の発見プロジェクト」
- <https://www.minakata.org/manabi/udc2020/>
- 南方熊楠顕彰館とジャパンサーチの連携企画
- NPO法人南紀こどもステーション主催によるジャパンサーチを活用した子ども向けオンラインセミナー

教育・学習

- 「アジア歴史ラーニング」
- <https://www.jacar.go.jp/learning/index.html>
- 国立公文書館アジア歴史資料センターによる、デジタル資料を用いたアクティブラーニング用の歴史学習用ウェブサイト
- 歴史的な事件の解説とその根拠となる公文書を表示するサービス

展示

- 「原画'（ダッシュ）」
- 京都精華大学国際マンガ研究センター
- 高精細にデジタル化した原画のイメージを元に、色調整や原稿の傷、下書きの跡、手塗りのムラの再現などを行い、印刷したマンガ原画の複製
- 破損や劣化などの恐れなく活用可能であり、国内外の展示会で展示された
 - ref. <http://imrc.jp/project/feature.html>
 - ref. <https://katsudi.com/原画ダッシュとは?/>

展示

- オンラインパイロット展「Ludo-Musica」
 - <https://ludomusica.net/>
 - 期間：2021-01-27/2021-02-26
 - ビデオゲームの音楽面を強調した展示企画
 - コロナ禍を踏まえた展示のオンライン化の試行
 - メディア芸術DBのAPIによるゲーム作品情報の活用
- [紹介記事](#) (IGN Japan)

u
o
s
i
c
a

みるビデオゲーム

ENTER →

🎧
サイトでは音が出ます
ンからご利用ください

情報発信とコミュニティ形成

- ウィキペディアタウン
 - 「ウィキペディアタウンとは、その地域にある文化財や観光名所などの情報をインターネット上の百科事典「ウィキペディア」に掲載し、さらに掲載記事へのアクセスの容易さを実現した街（町）のことである」 - Wikipedia contributors, “ウィキペディアタウン,” *Wikipedia*, <https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=ウィキペディアタウン&oldid=83665373> (accessed June 26, 2021).
- 2012年ウェールズのモンマスで始まった活動。
- 主催者（編集者）からオープンデータの考え方や編集方針と手法を学び、現地調査と資料調査を行い、実際にウィキペディアの記事を作成する。
 - 図書館活用の方法論構築と情報活用能力の向上にもつながる
 - ref. りぶしる「ウィキペディアタウン」.
https://libinfo.fjas.fujitsu.com/loy_report/2017_wikipediatown.html

情報発信とコミュニティ形成

- Europeana Transcribathon
- <https://europeana.transcribathon.eu/>
- “Europeana Transcribe is an online citizen science initiative for the enrichment of digitised material from Europeana Collections.”
- WW1の手紙、日記などを翻刻する市民データソンのイベント
- 翻刻文字数のランキングなども
 - ref. みんなで翻刻. <https://honkoku.org/>

情報発信とコミュニティ形成

- Europeana Collection Days
- <https://www.europeana.eu/en/blog/europeana-migration-collection-day-how-does-it-work>
- 市民に写真などの資料を提供してもらい、彼らの家族やコミュニティの物語を共有し、職員らによる編集の後、コンテンツとして公開するイベント。



情報発信・プロモーション

- 企業アーカイブ
 - コカ・コーラヘリテージコミュニケーションズ部 ([インタビュー](#))
 - 資生堂企業資料館
 - Museum, Shiseido Corporate. 資生堂企業資料館における企業資料の収集・活用の取り組みと課題. 2019, p. 68–72. https://doi.org/10.18919/jkg.69.2_68
 - 任天堂資料館 ([リリース](#))
 - プロダクション・アイジー
 - CA1935 - プロダクション・アイジーの現場から見たアニメーション・アーカイブの現状と課題 / 山川道子. <https://current.ndl.go.jp/ca1935>

商品開発

- **九谷焼紙皿 KUTANI PAPER PLATE**
- 「九谷焼は江戸時代前期から加賀の大聖寺藩九谷村ではじまり360年以上の歴史を有します。... (中略) ...この伝統工芸の美を、より多くの方に知っていただき九谷焼の歴史を身近なもの感じていただくために、江戸前期から明治後期の名品を6枚の高級紙皿として蘇らせました。アウトドアで、気軽な立食で、また贅沢なティータイムにご利用いただき、当時の芸術を懐古しながら豊かな時間を過ごしていただけます。」 - <https://yoshita-design.com/news/九谷焼紙皿販売/>
- 能美市九谷焼美術館
<http://www.kutaniyaki.or.jp/>



まとめ

- デジタル化された文化資源の活用には大きく分けて普遍／資源固有のアプローチが存在する。
 1. 普遍性の高いアプローチ
 - どのような資源を扱うサービスでも展開できる取り組み。ただし、似たようなイベントは多い。
 - e.g. データソン、データチャレンジ、クラウドソーシング、など
 2. 資源の固有性が高いアプローチ
 - 資源の特性を活かした取り組み。ユニークなものが多いが、企画力が必要とされる。
 - e.g. 九谷焼紙皿、原画、アジア歴史ラーニング、など
- いずれにせよ、これらの活用を通じて、資源に基づく「コミュニティ」づくりと「シーン」の形成が求められており、そのためには試行錯誤のプロセスが求められる。

クロージング

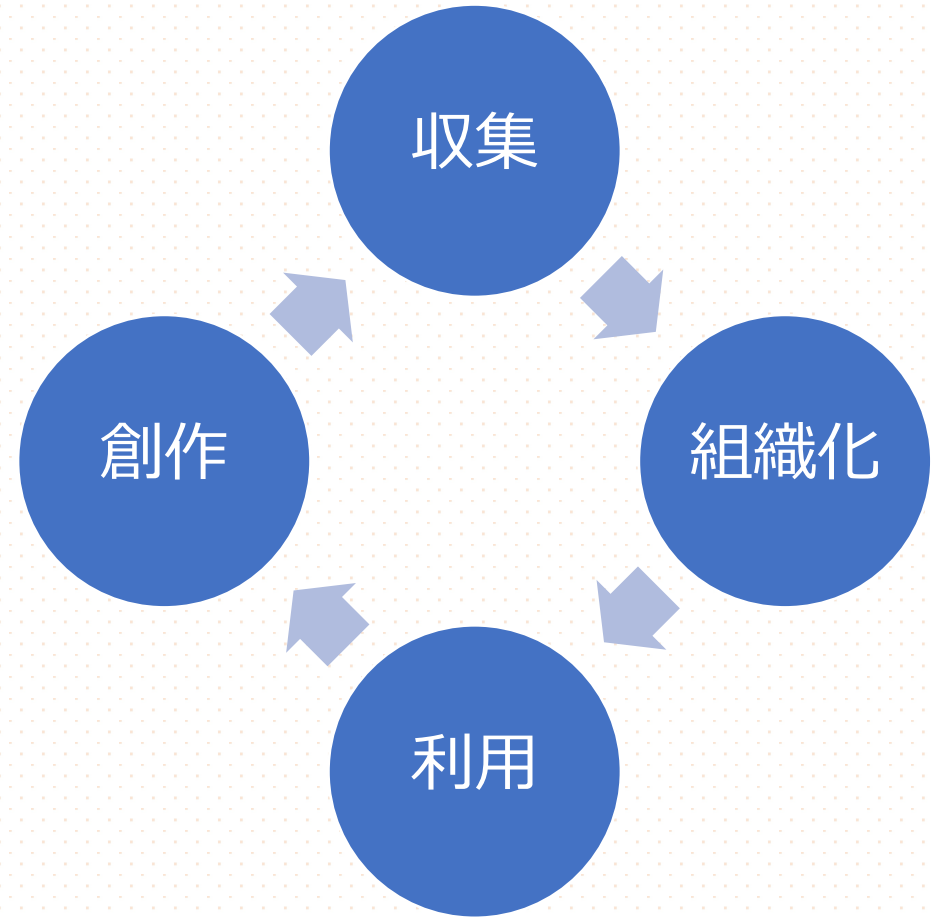
講義まとめ

アーカイブとは

- 本講義では、資源としての文化を取り扱う「アーカイブ」とりえわけ「デジタルアーカイブ」を主軸に議論を進めてきた。
- アーカイブとは「**知を蓄積して利用できるようにする仕組み**ないしはそうしてできた**利用可能な知の蓄積**（根本, p. 9）」。
 - 根本彰. (2021). 「アーカイブの思想」. みすず書房.
- 一方で、デジタルアーカイブとは、前述のアーカイブのコンテンツを**デジタル化し、インターネットを用いて利用できるようにしたもの**と言える。

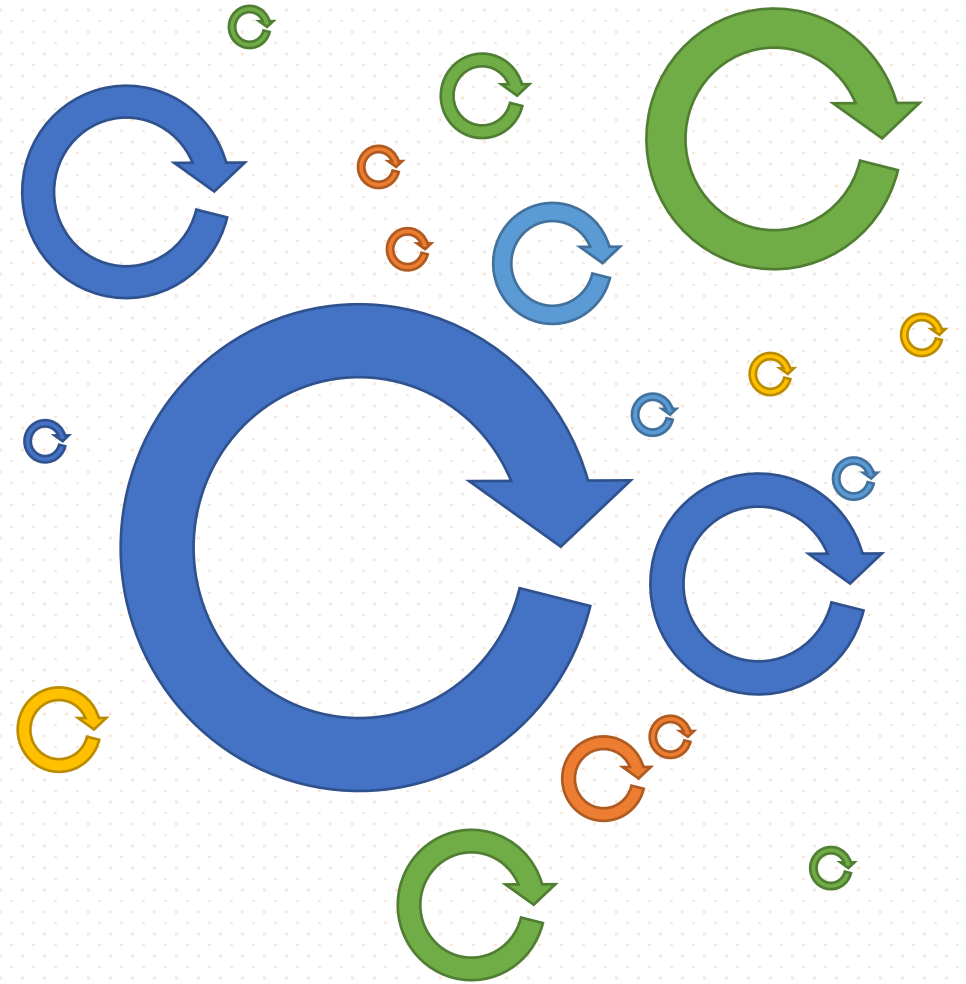
アーカイブと創作活動のサイクル

- アーカイブは、**創作物を収集・組織化し、利用されることで創作活動を創発**する、という右図で示されるような知のサイクル・ループを構成する。
- 伝統的なアーカイブでは、**図書館** (Library) ・ **博物館** (Museum) ・ **文書館** (Archives) が「収集」「組織化」「利用」において、重要な役割を担ってきた。



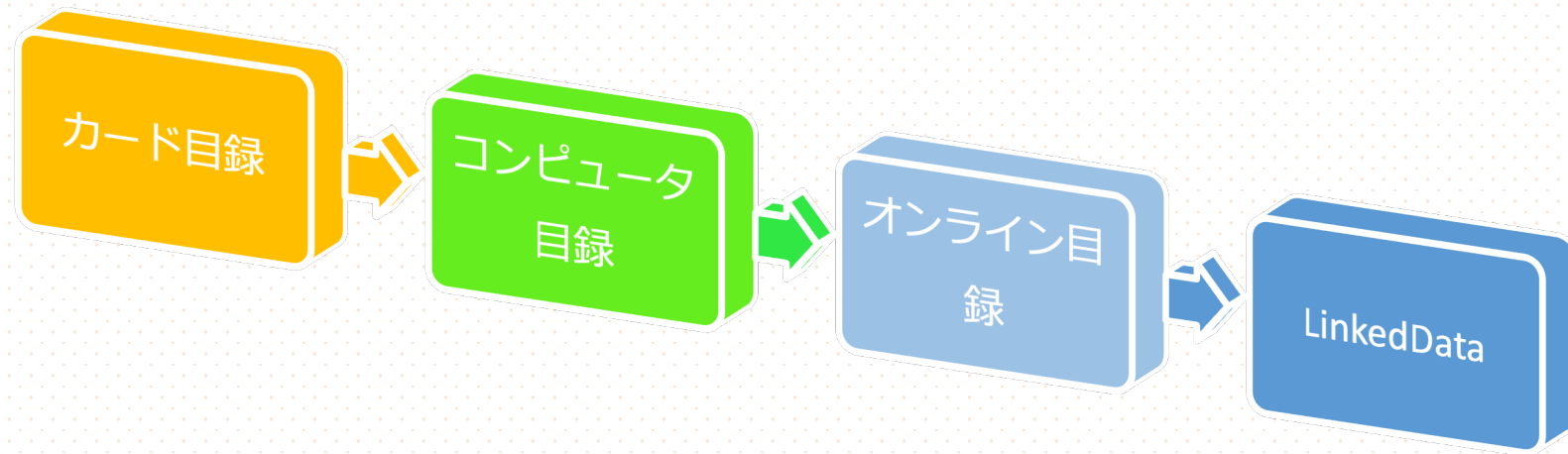
アーカイブにおける「デジタル」の意義

- デジタル技術以前には、**大規模だが少数のループ**が存在するだけだった。
- コンピュータとウェブの技術発展と普及により、**少ないコスト**でもアーカイブを構築・公開することが可能となり、多様なアーカイブが生じた。
- これらは偏在してはいるが、**まとめ役**及び**ポータルサービス**や、**検索エンジン**が集約し、その窓口となっている。



アーカイブにおける「デジタル」の意義

- コンピュータ技術とインターネット技術を用いることで、**アクセシビリティ**が圧倒的に向上した（下図）。
- ただし、**真正性（Authority）**という観点ではデジタルアーカイブには限界はある。データだけでは「**裏付け**」が弱い。資料現物のアーカイブとデジタル・アーカイブを相互補完的に用いる必要性がある。



現代社会におけるアーカイブの機能

- インターネットの普及で、よりうつろいややすい世の中になりつつある。そのような中で、「**空気を読む**」ことや「**コミュニケーション能力**」が重視される傾向が社会的に強まっている？
 - ただし、それはその場しのぎで一貫性の無い行動を助長する
 - もしくは、近視眼的反応（反射）で社会の言説が構成される
- 後から振り返って証拠となりえるモノやデータを整理し残すこと、さらにそれらを利用可能なものとするにより、アーカイブは構築され、知的基盤となる。
- それを用いることで、長期的な視座やそれに基づく社会課題の解決法の構築につながる。